

平成30年度  
自己評価報告書

平成31年3月4日

那覇市医師会那覇看護専門学校

# 目 次

1 学校の理念、教育目標 .....	2	基準4 学修成果 .....	28
2 本年度の重点目標と達成計画 .....	3	4-13 就職率 .....	29
3 評価項目別取組状況 .....	5	4-14 資格・免許の取得率 .....	30
基準1 教育理念・目的・育成人材像 .....	6	4-15 卒業生の社会的評価 .....	31
1-1 理念・目的・育成人材像 .....	7	基準5 学生支援 .....	32
基準2 学校運営 .....	10	5-16 就職等進路 .....	33
2-2 運営方針 .....	11	5-17 中途退学への対応 .....	34
2-3 事業計画 .....	12	5-18 学生相談 .....	35
2-4 運営組織 .....	13	5-19 学生生活 .....	36
2-5 人事・給与制度 .....	15	5-20 保護者との連携 .....	39
2-6 意思決定システム .....	16	5-21 卒業生・社会人 .....	40
2-7 情報システム .....	17	基準6 教育環境 .....	42
基準3 教育活動 .....	18	6-22 施設・設備等 .....	43
3-8 目標の設定 .....	19	6-23 学外実習、インターンシップ等 .....	45
3-9 教育方法・評価等 .....	20	6-24 防災・安全管理 .....	47
3-10 成績評価・単位認定等 .....	23	基準7 学生の募集と受入れ .....	50
3-11 資格・免許の取得の指導體制 .....	24	7-25 学生募集活動 .....	51
3-12 教員・教員組織 .....	25	7-26 入学選考 .....	55
		7-27 学納金 .....	57

<b>基準 8 財 務</b> .....	<b>5 8</b>
8-28 財務基盤.....	5 9
8-29 予算・収支計画.....	6 1
8-30 監査.....	6 2
8-31 財務情報の公開.....	6 3
<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>6 4</b>
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	6 5
9-33 個人情報保護.....	6 6
9-34 学校評価.....	6 7
9-35 教育情報の公開.....	6 9
<b>基準 10 社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>7 0</b>
10-36 社会貢献・地域貢献.....	7 1
10-37 ボランティア活動.....	7 3
<b>4 平成30年度重点目標達成についての自己評価</b> .....	<b>7 4</b>

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

# 1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
<p>本校は、看護職に必要な人間への深い関心を示す豊かな感性と幅広い教養を育て、人々の健康生活を支援し、社会に貢献できる看護実践者を育成する。その教育は、学習者の主体性を大切に学習者と教師が共に学問を探究し築かれる。</p>	<p><b>教育目的</b>            本校は、看護実践者として人間力、判断力、実践力を身につけ、地域医療に貢献できる人材の育成をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の生命を尊び、一人ひとりの権利を守る倫理的行動がとれる。</li> <li>2 他者との関係を築くことができる。</li> <li>3 看護者に必要な知識・技術・態度を身につけることができる。</li> <li>4 自律心・探究心を持ち、創造性を発揮できる。</li> <li>5 地域社会に関心を持ち、保健・医療・福祉を考えることができる。</li> <li>6 看護学を学び、自分の健康生活と人生の充実を考えることができる。</li> </ol> <p><b>教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する能力を培う。</li> <li>2 人間の健康と生活を、自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する基礎的能力を培う。</li> <li>3 一人ひとりの多様な価値観を認め、看護実践者として、対象の意思決定・自己実現を支援できる基礎的能力を培う。</li> <li>4 看護者としての責任と義務を担い、職業倫理に基づいた行動決定をするための基礎的能力を培う。</li> <li>5 看護実践者として、自律・探究・創造する能力を育み、将来にわたり、自己の成長と人生の充実を考えることのできる能力を培う。</li> <li>6 看護の知識・技術・態度を活用し、人々の健康課題を明らかにし、看護の対象に対して科学的根拠に基づいて安全に看護実践できる基礎的能力を培う。</li> <li>7 あらゆる発達段階、健康段階及び障がいの状態に応じた看護を安全に実践するための基礎的能力を培う。</li> <li>8 保健医療福祉制度と他職種役割を理解し、協働するとともに、人々が社会資源を活用できるよう調整するための基礎的能力を培う。</li> <li>9 国内外の動向に関心を持ち、社会の変化及び状況に応じた看護の役割を認識できる基礎的能力を培う。</li> </ol>

## 2 本年度の重点目標と達成計画

平成30年度重点目標	達成計画・取組方法
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安定した学校運営</li> <li>2 教育課程の円滑な運営</li> <li>3 教職員の資質の向上</li> <li>4 教育環境の整備</li> <li>5 学生支援の強化</li> <li>6 入学生・卒業生への支援</li> <li>7 広報活動</li> <li>8 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換</li> <li>9 後援会及び同窓会活動の支援</li> </ol>	<p>(1) 安定した学校運営</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教育目的・目標の達成に向けて組織体制・財政基盤の安定を図る。</li> <li>②均衡のとれた財政管理に努め、支出については適切な節減に努める。</li> <li>③年度末に学校運営全般の自己点検自己評価を実施し事業の成果状況と課題を明らかにする。</li> <li>④学校の将来を考える会を開催し、応募状況、受験生の要望、高校生へのアンケート調査、卒業生キャリアアンケート（追跡調査）評価、設置主体のニーズ等を踏まえ学校の在り方を検討する。</li> </ol> <p>(2) 教育課程の円滑な運営</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①外来講師、専任教員、臨地実習施設の確保に努める。</li> <li>②看護職に必要な自己教育力、社会人・組織人としての基礎的能力の育成に努める。</li> <li>③実習指導者との情報交換、連携・協働を推進する。</li> <li>④地域包括ケアへの移行を見据え、新カリキュラム構築に向け現行カリキュラムの評価を行う。</li> </ol> <p>(3) 教職員の資質の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①県内外の研修会・学会へ派遣する。</li> <li>②実習施設と教育現場との連携、協働について強化していく。(院内研究発表会への積極的参加)</li> <li>③看護教員養成講習会未受講者の研修派遣をする。</li> <li>④看護研修への取り組みを支援し、県内外の学会発表を推奨する。</li> <li>⑤キャリアラダーを活用した目標管理に基づく評価面接を実施する。</li> </ol> <p>(4) 教育環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①図書の実質、図書室の利用率を高め、学生の学習活動を支援する。</li> <li>②教材備品の管理を徹底し、教材教具を積極的に活用し、学生の主体的な学習活動を支援する。</li> </ol>

最新日付

平成30年度重点目標	達成計画・取組方法
	<p>(5) 学生支援の強化</p> <p>①看護師としての基礎的能力の習得、学習活動、経済的支援に努める。</p> <p>②社会人・組織人としての基礎的能力、就職・進学等キャリア発達を支援する。③国試対策として3年間の支援計画の下、国家試験合格100%をめざす。</p> <p>④専門性の追求や学び続ける力を支援するために教科外講座の開設をする。 (福祉住環境コーディネーター)</p> <p>(6) 入学生・卒業生への支援</p> <p>①入学前支援としてのプレスクールの実施。</p> <p>②卒業後支援としての里帰りの実施(卒後5か月目、卒後1年目)</p> <p>(7) 広報活動</p> <p>①日頃の学校生活等を学校ホームページにて紹介し充実を図る。</p> <p>②学校説明会・学校祭・オープンキャンパスを開催し、学生生活を紹介する。</p> <p>③高等学校を訪問し、職業ガイダンス、進学説明会を行い、質の高い入学生の確保に努める。</p> <p>④中学校を訪問し、職業ガイダンスにより、看護師の魅力を伝える。</p> <p>(8) 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換</p> <p>①中高生への健康教育、健康講座等へ積極的に講師を派遣し地域貢献に努める。②学生のボランティア活動を支援し積極的に地域活動へ参加する。</p> <p>③日本看護学校協議会、沖縄県看護教育協議会との情報交換を進め、他の関連機関との連携に努める。</p> <p>(9) 後援会及び同窓会活動の支援</p> <p>①後援会及び同窓会活動がさらに活発に行えるよう、事務的支援を行う。</p>

### 3 評価項目別取組状況



## 基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的・目標は、看護職に必要な人間への深い関心を示す豊かな感性を持った看護実践者を育成するという哲学的な概念を含む理念を掲げ、専門職の特性を明文化している。</p> <p>理念を実現するための、教育目的・目標を明示し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野の領域ごとの目的・目標を掲げ教育計画を立案・明確化している。理念を学生・保護者、関連施設等へ浸透させるために、理念を理解しやすいようロゴマークを作成し、周知の工夫を行っている。今後も後援会や学校便り等にて保護者への周知を図る工夫を行っている。</p> <p>学生が主体的に学べるよう、協同学習技法を取り入れ、アクティブラーニングを教育活動として展開している。</p> <p>教育理念に基づき、社会のニーズに即応した看護専門職業人『看護実践者』を育成するために、学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。年度初めに重点目標・事業計画を提示し周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。</p>		<p><b>ロゴマークの作成</b> 理念の周知を図る工夫を行っている</p> <p><b>4回シリーズのプレスクール</b> 推薦入学で合格した入学予定者へ入学前授業として、12月～3月までの期間に4回シリーズのプレスクールを実施している。</p> <p><b>TAとの連携による技術教育</b> 在学中は、実習施設と連携協力の下、ティーチングアシスタント（TA）と共に技術教育を行っている。</p> <p><b>目標管理シートの活用</b> 学生は『目標管理』シート（プロジェクト学習の改訂版）を活用して学習活動等に取り組むことができている。また、学年を超えた交流や学びの共有を機会あるごとに行うことができている。</p> <p><b>シミュレーション学習、協同学習</b> 教育活動の工夫として、シナリオベースのシミュレーション学習、協同学習等、学生が主体的に学べるようアクティブラーニングを活用した授業方法を展開している。</p> <p><b>里帰りトレーニング</b> 卒業生に対しては、卒業後5か月目、卒業後1年目に里帰りトレーニングを実施し、卒業後の精神的ケアや、臨床実践能力の支援を行っている。</p>

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	①理念に沿った目的・育成人材像になっているか ②理念等は文書化するなど明確に定めているか ③理念等において専門分野の特性は明確になっているか ④理念等に応じた課程（学科）を設置しているか ⑤理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ⑥理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか ⑦理念等の浸透度を確認しているか ⑧理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4	①②理念等は文章化し明確に定めており、理念に沿った育成人材像になっている。 ③看護実践者を育成するという専門分野の特性は明確になっている。 ④⑤理念に応じた学科を設置し各専門領域において具体的な目標計画・教育方法等を定めている。 ⑥⑦理念等については機会あるごとに直接説明し周知を図り、浸透させる目的で玄関ロビーや各教室に理念を掲げ認識への働きかけを行うようにした。また、学校満足度評価において理念の浸透度が確認できる評価項目の修正をした。 ⑧カリキュラム改正を見据え見直しを行っている ⑧カリキュラム改正を見据え見直しを行っている			看護六法 学則・細則・内規 学生便覧 みちしるべ(シラバス) 臨地実習要項 臨地実習概要 授業評価 学校案内パンフレット 学校ホームページ 学校満足度評価
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	①課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか ②教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4	①看護専門職業人として必要な知識・技術・態度・人間力・判断力・実践力を卒業生像として明確にしている。 ②教育課程、授業計画等の策定において協力を得ている。			学生便覧 みちしるべ(シラバス) カリキュラム開発会議 議事録 ユニフィケーション会 議事録 学校案内パンフレット 臨地実習概要 実習要項

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<p>③専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか</p> <p>④学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか</p> <p>⑤教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか</p>		<p>③教員採用においては臨床経験5年以上従事した者とし看護関係の協力を得ている。</p> <p>④⑤実習実施にあたっては実習施設として認可された施設の協力を得て、校内実習や臨地実習へと連携できるように実施している。学内の実習、講義において、実習施設の専門、認定看護師の参加協力を得ている。</p>			
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<p>①理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p> <p>②特色ある職業実践教育に取り組んでいるか</p>	4	<p>①②シナリオベースのシミュレーション学習、協同学習等、学生が主体的に学べるようアクティブラーニングを活用した授業方法、教育活動として展開している。入学前支援として、プレスクールの実施、在学中は、実習施設と連携協力の下、ティーチングアシスタント（TA）による技術教育を行っている。卒業生に対しては、里帰りトレーニングを実施している。</p>			<p>学校事業計画 事業実施計画 学生便覧 みちしるべ(シラバス) 入学前支援会議資料 プレスクール資料 卒業後支援委員会議事録 里帰りパンフレット資料 学校ホームページ 那覇看便り 那覇市医師会報 カリキュラム開発会議議事録</p>

<p>1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p>	<p>①中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか          ②学校の将来構想を教職員に周知しているか          ③学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか</p>	<p>4</p>	<p>①中期的視点で学校の将来構想を定めカリキュラム開発委員会及び「学校の将来を考える会」を設置し、教職員の周知を図っている。          ③社会のニーズを踏まえた将来構想に関連する情報や新カリキュラム改正が行われることを見据え、授業や実習等で学生へ伝えている。また、保護者へは後援会や那覇看便り等で今後の方向性について伝えている。実習施設へは、ユニフケーション会議にて、教育現場の状況、臨床現場の状況や意見・情報交換を行い周知を図っている。          臨床現場の状況や意見・情報交換を行い周知を図っている。</p>			<p>学校の将来を考える検討会議事録（応募状況、高校生へのアンケート調査結果、卒業生アンケート調査結果）          カリキュラム開発会議議事録          ユニフケーション会議議事録          学生便覧          みちしるべ（シラバス）          学校案内パンフレット          学校ホームページ          臨地実習要項          学校ホームページ</p>
--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>中項目総括</p>	<p>特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）</p>
<p>教育理念・目的・目標は、看護職に必要な人間への深い関心を示す豊かな感性を持った看護実践者を育成するという哲学的な概念を含む理念を掲げ、専門職の特性を明文化している。理念を実現するための、教育目的・目標を明示し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、統合分野の領域ごとの目的・目標を掲げ教育計画を立案・明確化している。理念を学生・保護者、関連施設等へ浸透させるために、理念を理解しやすいようロゴマークを作成し、周知の工夫を行っている。今後も後援会や学校便り等にて保護者への周知を図る工夫を行なっている。</p>	<p>教育理念の浸透を図る工夫としてロゴマークを作成し、各教室へ掲げた。</p>

## 基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念に基づき、社会のニーズに即応した看護専門職業人『看護実践者』を育成するために、学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。重点目標・事業計画を提示し、前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。『魅力ある選ばれる学校』となるよう、積極的に情報発信し、透明性・客観性を確保し学校の質保障・向上を図っていく。</p> <p>本校は、教職員会議の場が意思決定の場であり、会議規程を定め、定例会議等を開催し、議事録は開催ごとに作成している。規則・規程等の改正が必要であれば 管理者会議を経て学校運営委員会等で審議し改正していく。教職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。また、人材確保については、ホームページやナースセンター及びハローワーク等で採用広報を行っている。人事考課制度については、法人が行う規定の見直しや『働き方改革』等を見据え検討することが必要である。</p> <p>学生の主体的な学習活動を支援、業務の効率化を図るためにも、教務事務の役割を明確化し、学生の情報管理システムを構築、タイムリーな情報提供を行い、トラブル発生が無いよう、今後も適切にセキュリティー管理を行なっていく。</p>	<p>人事考課制度については、法人が行う規定の見直しや『働き方改革』等についても検討していく。</p>	<p><b>学務システムによる効率的な運用</b></p> <p>学務システムを取り入れ教務事務による効率的な運用ができています。</p> <p>情報管理システムを構築し、学生へもタイムリーな情報提供（出欠席管理）ができるよう環境整備している。</p> <p><b>情報管理システムとセキュリティー管理</b></p> <p>学生の情報管理システムを構築、タイムリーな情報提供を行い、トラブル発生が無いよう、適切にセキュリティー管理を行なっている。</p>

## 2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	①運営方針を文書化するなど明確に定めているか ②運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか ③運営方針を教職員等に周知しているか ④運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	①②③④学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。年度初めに重点目標・事業計画を提示し周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。			学校事業計画 学校組織図 会議計画 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発会議録・資料 学生便覧 みちしるべ(シラバス) 臨地実習要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に基づき、社会のニーズに即応した看護専門職業人『看護実践者』を育成するために、学校の運営方針について、『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。年度初めに重点目標・事業計画を提示し周知している。前期には中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みの見直し及び確認を行っている。	

## 2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。	①中期計画（3～5年程度）を定めているか ②単年度の事業計画を定めているか ③事業計画に予算、事業目標等を明示しているか ④事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか ⑤事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	①管理運営・人事管理等に関する中期計画を定めている。 ②③④⑤単年度の事業計画を定め明業務分担等について明文化している。 職員会議計画の中で半期毎に評価の時期・内容を明示している。			学校事業計画 学校業務区 会議計画 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発会議録・資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実践的な職業教育をめざし『魅力ある選ばれる学校』となるよう、積極的に情報発信をしていくことで、透明性・客観性を確保し学校の質保障・向上を図っていくため、中期計画を定めている。更に単年度の事業計画、業務分担等を職員会議計画の中で明確化し、中間評価の時期を明示している。	

## 2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	①理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか ②理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか ③寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③一般社団法人那覇市医師会組織の目的に則り毎月定例会議2回、評議委員会1回開催し、審議事項について議事録を作成している。寄附行為については必要に応じて適正な手続きを経て改正している。			法人組織図 理事会総会議案書 事業計画 会議議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	①学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか ②現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか ③各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか ④会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか ⑤会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか ⑥組織運営のための規則・規程等を整備しているか ⑦規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	①②③那覇市医師会那覇看護専門学校組織図を整備し体系化した組織規程、役割分担等を明確にしている。 ④⑤⑥⑦職員会議の場が意思決定の場であることを明確にし、会議規程を定め議事録は開催ごとに作成している。規則・規程等の改正が必要であれば適正な手続き(管理者会議)を経て改正していく。			学校事業計画 学校組織図 会議規程 会議計画 管理者会議録 職員会議録 教員会議録 カリキュラム開発会 議録・資料 各委員会議事録



小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	⑧学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	4	⑧事務職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。また、定期的な職員面談を行い目標管理に基づく評価面接を行い、キャリア支援を行っている。			委員会メンバー表 キャリアラダー表 目標管理シート 面接記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員会議の場が意思決定の場であることを明確にし、一般社団法人那覇市医師会組織の目的に則り、那覇市医師会那覇看護専門学校組織図を整備・体系化した組織規程、役割分担等を明確にしている。会議規程を定め、定例会議を開催し、議事録は開催ごとに作成している。規則・規程等の改正が必要であれば適正な手続き(管理者会議)を経て改正していく。事務職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。	

## 2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	①採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか ②適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか ③給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか ④昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか ⑤人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	①採用基準、採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用している。 ②ホームページやナースセンター及びハローワーク等で必要な人材確保の採用広報を行っている。 ③④⑤基準・規程等を整備・明確化し適切に運用している。	⑤就業規則等の見直しが不十分である	⑤規定の見直しや「働き方改革」を見据え、法人と共に検討していく。	就業規則 給与規程 人事考課規程 学校事業計画 学校組織図 キャリアラダー表 目標管理シート 面接記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法人の目的に則り、採用基準、採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用している。人材確保については、ホームページやナースセンター及びハローワーク等で採用広報を行っている。採用基準・規程等を整備・明確化し適切に運用しているが、人事考課制度については、規定の見直しや『働き方改革』等を見据え、検討していく。	

## 2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	①教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか ②意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか ③意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	①②③法人の組織の目的・事業計画の中で、組織図を明確化し、職員の職責・業務分掌等において意思決定システムを明確化している。			法人理事会総会資料 法人理事会総会議事録 学納金管理簿 国・県補助金申請 学校運営委員会 議事録 予算書・決算書 管理者会議録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員会議が意思決定の場であることを周知しているため、法人の組織の目的・事業計画の中で、組織図を明確化し、職員の職責・業務分掌等において意思決定システムを明確化している。	

## 2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	①学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか ②情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか ③学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか ④データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか ⑤システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか	4	①②③④⑤教務事務の役割を明確化し、学生の情報管理システムを構築し、一元管理している。また、タイムリーな情報提供を行い、適切にセキュリティ管理を行っている。			バックアップシステム サーバー 医師会事務局 学籍管理パソコン管理 契約管理会社 学内パソコン台数 教職員(外来講師) 52台 学生 62台 個人情報保護規定 就業規則 情報取り扱い管理規程

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生の主体的な学習活動を支援、業務の効率化を図るためにも、教務事務の役割を明確化し、学生の情報管理システムを構築、タイムリーな情報提供を行い、トラブル発生が無いよう、適切にセキュリティ管理を行なっている。	学務システムを取り入れ教務事務による効率的な運用ができています

## 基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>厚生労働省の保健師助産師看護師等養成学校指定規則を遵守し、教育理念、教育目的、教育目標を反映した内容で教育課程編成を行っている。</p> <p>学科目の目標、単位数・時間数は適切であり、学生便覧、みちしるべ(学習シラバス)にも明示している。</p> <p>授業形態や授業方法も明示しており、学習シラバスは、毎年教育内容や方法を検討し、評価修正している。しかし、領域を超えての授業参観の機会が少なく、他の領域の教員からの意見が反映されにくい。</p> <p>在校生や卒業生の授業評価や、満足度評価等行い、学校運営の改善に反映させている。</p> <p>校内実習に参加したティーチングアシスタント（TA）やユニフィケーション会議等での意見も講義・演習・臨地実習に反映させている。</p> <p>キャリア教育については、3年後の目標まで明文化させ、実習ごと、学期ごと振り返り目標管理を取り組ませている。毎年、看護職として必要な基礎的態度の自己評価として学生のレーダーチャートを作成し、成長や課題を視覚化し、チューターと共に振り返りをしている。また、在学中の経験記録をポートフォリオとして整理し、キャリアデザインの講話やストレスマネジメントの講演を行っている。</p> <p>ユニフィケーション会議に参加していない就職先からの評価が実施されていないため、今後評価計画を立案し実施できるよう努めていく。</p>	<p>授業参観計画を立案し授業方法研鑽の機会としていく</p> <p>ユニフィケーション会議に参加していない就職先の意見聴取や評価計画を立案する</p>	<p><b>看護職として必要な基礎的態度の自己評価</b></p> <p>「看護職として必要な基礎的態度」の自己評価し、学生のレーダーチャートを作成、成長や課題を視覚化し、チューターと共に振り返りをしている。在学中の経験記録をポートフォリオとして作成している。</p> <p>キャリアデザインの講話やストレスマネジメントの講演を行っている</p> <p><b>ユニフィケーション会議の開催</b></p> <p>校内実習に参加したティーチングアシスタント（TA）やユニフィケーション会議等での意見も講義・演習・臨地実習に反映させている。</p>

## 3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	①教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか ②職業教育に関する方針を定めているか	4	①②教育課程の編成方針、実施方針、職業教育に関する方針を明確に定め文書化している。			シラバス・学生便覧 実習要項・ステップアップスケール 学校案内 カリキュラム検討委員会資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	①学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか ②教育到達レベルは、理念等に適合しているか ③資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか ④資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	①②目標とする教育到達レベルは明示しており理念に適合している。  ③看護師免許の取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしている。  ④看護師免許取得に向けて看護師国家試験の支援体制を整えている。			シラバス 学生便覧 実習要項 学校案内 カリキュラム検討委員会資料 技術経験録 国試対策委員会活会議録 国試対策年間計画表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に沿って教育課程を編成している。 看護師養成所としてのミッションである看護師免許取得に向けた教育課程を構築している。	

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<p>①教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか</p> <p>②議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか</p> <p>③授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか</p> <p>④授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか</p> <p>⑤修了に係る授業時数、単位数を明示しているか</p> <p>⑥授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか</p> <p>⑦授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか</p> <p>⑧授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか</p> <p>⑨職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか</p>	4	<p>①②教育課程編成に関する事項を審議するため教育課程編成委員会を設置し、指導助言等を受け、カリキュラム開発委員会にて検討していく事を明確にしている。また、協議された内容に関しては議事録に記載されている。</p> <p>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩科目選択、授業時間数、単位数、教育内容等、目的目標に照らし講義・演習・実習等適切な授業形態を選択し、協同学習やシナリオベースのシミュレーション、校内実習においてはティーチングアシスタント (TA) 参加の技術教育を行い、臨床実践能力を高めるための工夫を行っている。</p>			<p>教育課程編成委員会議事録</p> <p>カリキュラム開発委員会議事録</p> <p>学生便覧</p> <p>みちしるべ (シラバス)</p> <p>学年歴</p> <p>学校案内</p> <p>ホームページ</p> <p>ユニフィケーション</p> <p>会議録</p> <p>臨地実習要項</p> <p>単位認定会議録</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<p>⑩職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか</p> <p>⑪単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか</p> <p>⑫授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか</p> <p>⑬教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか</p>		<p>⑩入学前の単位履修科目の単位認定を希望するものは履修科目単位認定に関する手続きを行うよう説明している</p> <p>⑫⑬授業科目の授業計画（シラバス）を作成し、教育課程についてはカリキュラム開発委員会にて検討を行っている。</p>			
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<p>①教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>②教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>③職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか</p>	3	<p>①②③在校生による学校満足度評価を毎年行い、意見を反映させている。また、校内実習で関わったティーチングアシスタント(TA)からの意見をアンケートで聴取し評価を行っている。更に年度末にはユニフィケーション会議で実習施設からの意見をもらい評価を行っているが、会議に不参加の就職先からの評価が行われていない</p>	<p>ユニフィケーション会議に参加していない就職先からの評価が実施されていない。</p>	<p>ユニフィケーション会議に参加していない就職先の意見聴取や評価計画を立案する</p>	<p>学生便覧 シラバス ホームページ ユニフィケーション会議録 校内実習終了後 TAアンケート記録 臨地実習要項 教員会議録</p>
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<p>①キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか</p> <p>②キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか</p>	3	<p>①②③キャリア教育については事業計画で明記している。在学中の経験記録をポートフォリオとして整理し、キャリアデザインについての講話やストレスマネジメントの講演を行っている。</p>		<p>各学年のキャリア教育の内容を明記し活用する。 (学習ステップ)</p>	<p>学生便覧 シラバス</p>



小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	③キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか		③ 卒業生に対して卒業後、5 か月目と1年目に里帰りトレーニングを開催し、卒業後の自己の立ち位置や臨床現場での思いを受け止める機会を設けている。全教員で行っている。			
3-9-4 授業評価を実施しているか	①授業評価を実施する体制を整備しているか ②学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか ③授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか ④教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	①②③④授業評価体制を整備し実施している。  臨地実習については、常に実習指導者、教員、学生の3者の評価を実施している。			学生便覧 シラバス 教員会議録 評価会議録 評価表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程は、教育目的・目標を反映し編成している。保助看法の指定規則を遵守している。学科目の目標、教育内容、単位数、時間数も適切である。</p> <p>みちしるべ(学習シラバス)は毎年見直し、次年度の授業に活かしている。</p> <p>授業評価も実施している。実施率を100%目指す。また、毎年、在校生や卒業生の評価、ティーチングアシスタント(TA)等、外部講師とのリフレクションを実施して授業の改善に活かしている。キャリア教育については、在学中の技術経験記録をポートフォリオとして整理し、キャリアデザインの講話やストレスマネジメントの講演、目標管理等を取り組ませている。また、卒業後は、5 か月目と1年目に里帰りトレーニングを全教員で行っている。</p> <p>卒業後動向として職場定着率や適応等について調査している。</p>	<p>教育理念・目的、本校の教育理念のロゴマークを1階フロア、各教室へ掲示臨床指導者(TA)を招き校内実習へ共に教育参加(基礎、成人、老年、母性、小児、臨床看護の校内実践で述べ133名)</p> <p>技術経験記録をポートフォリオとして整理</p> <p>キャリアデザインの講話</p> <p>ストレスマネジメントの特別講演</p> <p>入学前プレスクール4回シリーズ</p> <p>卒業後里帰りトレーニング(5 か月目、1年目)の開催目標管理の理解と活用促進</p>

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<p>①成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか</p> <p>②成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか</p> <p>③入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか</p>	4	<p>①②③学生便覧に規定し学生等へ明示している。前期、後期と単位認定会議を実施し、入学前の履修、他の教育機関の履修について学則に明記しており、単位認定会議にて判定している。</p>			<p>学生便覧 シラバス 単位認定会議録 定例会議録</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>単位認定・成績評価・卒業認定等について入学前の履修科目は、学生便覧に明示しており、単位認定会議にて適切に判定している。</p>	

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	①取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか ②資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	①②看護師免許取得に関する国家試験対策の意義を明確にし、国試対策特別講義や卒業生の特別講義等実施している。			学生便覧 シラバス 国試対策委員会議録 国試対策年間計画表
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	①資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか ②不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	①解剖生理や病態生理については医師による国試対策ゼミ、卒業生によるゼミ、学内の教員によるゼミ、業者模擬試験等、年間計画を立案し実施している。 ②不合格者に対しては、在校生同様に国試対策特別講義や模擬試験を受講するよう支援している。			学生便覧 シラバス 国試対策委員会議録 国試対策年間計画表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師免許取得に向けて、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインを遵守している。国家試験対策も1年生から全教員で支援している。不合格者についても在學生と同様に支援を行っている。	

## 3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<p>①授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか</p> <p>②授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか</p> <p>③教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか</p> <p>④教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか</p> <p>⑤教員の採用計画・配置計画を定めているか</p> <p>⑥専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか</p> <p>⑦教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか</p> <p>⑧教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか</p>	4	<p>①②③保健師助産師看護師学校養成所ガイドラインを遵守している。</p> <p>また、専任教員キャリア別達成目標（ラダー）を指標に自己研鑽をしている。</p> <p>④ホームページ、看護協会、ナースセンター等活用している。</p> <p>⑤指定規則に則り採用計画、配置計画を定めている。</p> <p>⑥シラバスに明記すると共にホームページに掲載している。</p> <p>⑦規定で明確に定めている。</p> <p>⑧毎年教員一人当たりの授業時間数、学生数を表で明確に把握している。</p>			<p>専任教員キャリア別達成目標（ラダー）学則</p> <p>14条報告</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	①教員の専門性、教授力を把握・評価しているか ②教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか ③関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか ④教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4	①研修に積極的に参加している。 ②年度初めに個人で年間研修計画を管理者に提出し、研修終了後は報告書を作成し提出している。教員再教育研修で発表している。 ③県内外の学会へ3例研究発表を行なった。 ④研究費を予算計上し研究活動を支援している。また、学校長によるスーパーバイザーの支援もある。 ④実習施設等の研修発表会へ参加している。			教員経験年数別ラダー 学則 管理者会議 14条報告

<p>3-12-3 教員の組織体制を整備しているか</p>	<p>①分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか          ②教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか          ③学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか          ④授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか          ⑤専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか</p>	<p>4</p>	<p>①②③教職員の組織体制、業務分担・責任体制は規程等で明確化し領域間で連携・協力体制を構築し、整備している。          ④カリキュラム開発会議等で取り組んでいる。          ⑤全体会議、領域会議等で連携・協力体制を確認している。</p>			<p>専任教員キャリア別達成目標（ラダー）          学則          管理者会議録          業務分掌          事業計画</p>
-------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員の資格・要件については、保健師助産師看護師学校養成所指定規則にのっとり確保している。教員の資質向上については、県内外の研修に積極的に参加している。また、学会発表も毎年行っている。沖縄県専任再教育研修に全教員参加し、課題に向けて取り組み発表している。毎年、実習施設とのユニフィケーション会議を開催し、教育活動における連携強化を図っている。業務分担、責任体制も規定に明記され遵守している。</p>	<p>教員の資質向上支援として県内外の学会、研修等全教員が参加できる状況である。教員養成講習会、教務主任養成講習会の受講計画立案し実施している。次年度は教務主任養成講習会を予定している。看護研究学会発表や研修費として予算化し自己研鑽の機会を支援している。</p>

## 基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率100%を目標としており、学生の就職については、就職担当の事務職員が窓口となり、情報提供や相談などの支援を行っている。また、就職説明会やセミナーを毎年1回3年生、2年生に行っている。卒業時の内定状況も把握し教員と情報共有している。</p> <p>卒業後の追跡調査を毎年行っている。卒業生が就職先から派遣されてきた場合、在校生との交流会を持ち、直接情報を提供している。また、里帰りトレーニング終了後に、3年生は先輩と交流を持ち、積極的に情報を交換している。</p> <p>1年生については、就職活動の基本的なことについて専門業者の講話で動機づけに繋げている。</p> <p>2年生については、公的な場で行われている就職セミナーに参加した本校の学生の状況を業者から情報提供してもらい把握している。</p> <p>後援会、同窓会からも模試代金の支援を受けている。</p> <p>国家試験合格100%を目標とし、1学年から3学年まで国家試験対策の年間計画を立て、教職員全員で取り組んでいる。学校案内、ホームページ等にも載せて受験生に周知している。合格実績、合格率も毎年全国水準を上回っている。国家試験終了後は結果を分析し、支援方法を検討し次年度に繋げている。</p> <p>卒業生の就職状況について、県内の就職先は情報収集は容易であるが、県外の就職状況については、直接訪問の機会を設定し状況把握を行っている。また、実習病院の院内の研究発表については、看護部を通して情報提供を受けており、発表会にも参加している。</p>		<p>就職セミナー(県内の病院を対象) 毎年1回開催</p> <p>里帰りトレーニング終了後3年生と卒業生の交流会 卒業生との交流会を設定し3年生は希望する就職先等の情報収集等を行う機会となっている</p>

## 4-13 就職率

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	①就職率に関する目標設定はあるか ②学生の就職活動を把握しているか ③専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか ④関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか ⑤就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	①②③⑤就職率 100%目標に設定している。県内外の就職先も把握してデータ化している。 ④就職説明会やセミナーを毎年1回実施し連携できている。			学校案内 ホームページ 進路就職先情報記録 進路ガイダンス 就職説明会

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率 100%を目標としており、学生の就職については、就職・進路担当が窓口となり、情報提供や相談など支援を行っている。1年生については、卒業生による特別講義や年度末には就職支援業者の講義を行っている。 2年生は、業者主催の就職説明会や学内での県内病院の就職説明会に参加させている。就職先情報についてデータ化し管理している。	



## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	①資格・免許取得率に関する目標設定はあるか ②特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか ③合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか ④指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	①②看護師国家試験100%を目標に設定し国家試験対策を1年生から実施し学習支援を行っている。 ③毎年合格の実績を学校案内に表示し全国の合格率とも比較している。 ④指導方法と結果を分析し指導方法を検討している。			国試対策年間計画表 看護師国家試験結果一覧表 全国業者模擬試験結果一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験合格 100%を目標としている。1 学年から国家試験対策を実施している。国家試験合格実績、合格率は全国水準を上回っている。</p> <p>国家試験委員会が中心となり、1 学年から 3 学年までの各クラスの国試対策委員会と連携を取り、学生が主体となれるよう支援している。また、全教員で支援体制を整え実施している。</p> <p>特に 3 年生は、国家試験専門業者の講座、医師による解剖生理学、循環器病態、看護と法律、卒業生による国試対策特別講義等実施している。</p> <p>平成 29 年度合格率は 97.6%。</p>	

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	①卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか ②卒業生の研究業績等を把握しているか	3	①②卒業生の県内就職先においては研究発表会等へ参加し、卒業生の活躍している状況は把握できる。 県外の就職先については、訪問の機会を作り状況把握を行ない実態把握に努めているが、不十分である。	県外就職先を含め追跡調査を継続的に行っているが不十分である。	活動の実態等も把握しデータに残すようにする。  卒業生が自分の活動報告をできるようにホームページや掲示板のシステムを構築していく。	卒業生による特別講義

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
県外の就職先を訪問し看護部長からの状況確認や情報収集、卒業生たちとの直接交流の場を設け状況報告を受け実態把握に努めている。 就職状況、実態把握については、追跡調査を行っているが不十分である。	

## 基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生への就職等に関しては、各教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。学生の学業継続の相談に関しては、担当教員や教務部長が面談、必要時、学校長、保護者も交えて面談を実施している。また、心理カウンセラーの活用の促がしや、必要時、相談医を紹介している。平成 30 年度退学者は 0 名であった。</p> <p>学生の経済面に対する支援として、困窮している学生には各奨学金の紹介や、個別相談に応じている。大規模災害時及び家計急変時等に対する支援制度は整備している。</p> <p>学生の健康管理では、年 1 回の学校健診を行い 2 次検診が必要な学生には随時指導を行っている。健康面で問題がある場合には、担当教員との連携を行って支援している。課外活動の支援は、サークル担当窓口の教員を配置し予算やサークル活動についての相談を行っている。</p> <p>保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。</p> <p>卒業生の支援として、同窓会が結成されており計画的に総会や特別講演を開催している。卒後 5 ヶ月と 1 年目に「里帰りトレーニング」を開催している。社会人経験者の入学に際し、入学前の履修科目に対して、学則に従って単位認定をしている。</p>		<p><b>学生の就職等進路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職・進学の情報提供や個別相談を行っている。</li> <li>・県外就職の卒業生に対し、就職先訪問を実施。</li> <li>・就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の支援を行っている。</li> </ul> <p><b>学生相談の体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チュートリアル担当教員が入学から卒業まで、継続的に相談窓口として学生を支援している。</li> <li>・学生が相談しやすいように男性・女性のカウンセラーを配置している。</li> </ul> <p><b>学生生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的支援制度の情報提供を十分行っている。 日本学生支援機構・沖縄県看護師等奨学資金教育訓練給付制度・専修学校奨学金給付事業他</li> <li>・学生の健康管理に関して、「わたしの健康ノート」を活用し、学校健診、抗体価検査、ワクチン接種状況が管理できるよう指導している。</li> </ul> <p><b>卒業生・社会人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒後は、5 ヶ月と 1 年目に「里帰りトレーニング」を開催している。卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別での相談も行っている</li> </ul>

## 5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	①就職など進路支援のための組織体制を整備しているか ②担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか ③学生の就職活動の状況を学内で共有しているか ④関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか ⑤就職説明会等を開催しているか ⑥履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか ⑦就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	①②③学生支援としての進路・就職に関する支援体制は整備されており、事務職員は就職・進学情報、奨学資金等の相談窓口となり、個別相談が行える体制を整えている。今年度は関東3県（埼玉、神奈川、東京）の卒業生就職先訪問を行い、状況把握をしている。 ④⑤⑥ハローワークや就職支援業者等と連携し、就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の講話を行い支援体制を整えている。 ⑦教員はチュートリアル制にて学生個々の相談支援体制を整えている。			学生進路一覧 就職説明会資料 小論文特別講義資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各チューター教員と就職担当事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。4月に3年生対象に就職説明会を開催している。その際、1、2年生も参加できるようにしている。 3年生には面接の受け方をはじめ具体的な就職指導をしており、就職に関する個別の相談に適切に応じている。また履歴書、エントリーシートの書き方はチューター教員が個別に指導しており、小論文は4～5月頃に外来講師に依頼して特別講義を行っている。	就職・進学の情報提供や個別相談を行っている。 県外就職の卒業生に対し、就職先訪問を実施し状況を把握している。 就職試験や履歴書・小論文の書き方、面接時マナー等の支援を行っている。

## 5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	①中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか ②指導経過記録を適切に保存しているか ③中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか ④退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	①個人面接を行い退学理由を明確にしている（現在0） ②面接時の内容は記録し保存している。 ③④悩んでいる学生に関しては心理カウンセラーの活用の促しを行っている。学習面に関してはチューターとの面談を通して支援をしている。			学生進路一覧 在校生の動向 退学理由書 個人面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。退学までには、チュートリアル制の担当教員や教務部長が面談、また学校長、保護者も交えて面談を実施しており、面接記録は保管している。休学や退学を決定するまでの悩んでいる期間に、心理カウンセラーの活用の促がしや、必要時、相談医を紹介している。個々に合わせて、きめ細かに対応している。</p> <p>平成30年度退学者は0名である。</p>	

## 5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	①専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか ②相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか ③学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか ④相談記録を適切に保存しているか ⑤関連医療機関等との連携はあるか	4	①専任カウンセラーが配置され、入学時に学生全員へ紹介と心理テストを実施している。 ②③学生相談室の設置を行いカウンセラーが来校する日時を掲示板にて案内している。またメールでの相談も行っている。12月より学生が相談しやすいよう、男性・女性のカウンセラーを配置している ④相談記録は専任カウンセラーにて保存されている。 ⑤相談医とし医療機関と連携を図り、必要時受診を薦めている。			学生便覧 学生相談室便り 相談医リスト 個人面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学制度がないため、留学に関する支援はない。</p> <p>学生相談に関する体制の整備は行っている。メンタル面で指導が必要な場合には、スクールカウンセラーの活用及び、治療が必要な学生に対しては、心療内科医との連携を取り「相談医」の紹介・活用ができる体制を整えている。女性カウンセラーの配置がなかった為、後期より女性カウンセラーの導入を行っている。また、個人指導に関しては、個人指導記録に記載保管している。</p>	<p>男性、女性のスクールカウンセラーを配置し、来校相談予定日表を学生相談室便りで掲示し、いつでも相談できる体制を整えている。また、専門医による治療が必要な学生に対しては、相談医リストを提示し、受診できる支援体制を整えている。</p>

## 5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	①学費の減免、分割納付制度を整備しているか ②大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか ③全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか ④公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか ⑤全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	①学費の減免は行っていないが、前期後期と分納制度を整備、納金期限の猶予体制を整えている。 ②文部科学省の教育費負担軽減方策（授業料の減免）の対象校として認定を受ける。 ③大規模災害発生時における家計急変に対応する制度は整備されている。 日本学生支援機構の緊急応急制度 ④⑤経済的支援制度の情報提供は十分に行っている。 ⑤支援制度の利用について実績を把握している。			学生便覧 日本学生支援機構「奨学金を希望する皆さんへ」 学生募集要項 奨学金一覧表（ガイダンス用） 日本学生支援機構 沖縄県看護師等修学資金 教育訓練給付制度 専修学校奨学金給付事業 他

<p>5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p>	<p>①学校保健計画を定めているか          ②学校医を選任しているか          ③保健室を整備し専門職員を配置しているか          ④定期健康診断を実施して記録を保存しているか          ⑤有所見者の再健診について適切に対応しているか</p>	<p>4</p>	<p>①学校健康診断、抗体価検査、予防接種計画を定めている          ②学校医及びメンタルケアの相談医を選任している。          ③保健室を整備しているが、教員が全員看護職であるため特別に専門職員の配置はしていない。          ④定期健康診断の記録は本人と学校で保管している          ⑤有所見者への対応は、保健委員の教員が全学年を把握し、各チューター教員へフォローの依頼をおこなっている          ⑥入学時に全学生へ「わたしの健康ノート」を配布・説明を実施し健康管理を意識付けている          ⑦1年間に3回、各時期に合わせた「保健だより」を学生保健委員が発行し、学生への啓蒙を行っている。</p>			<p>学生便覧          保健室利用内規          保健室利用カード          わたしの健康ノート          学生相談室便り          教育事業計画書          学生の健診結果</p>
------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	⑥健康に関する啓発及び教育を行っているか ⑦心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ⑧近隣の医療機関との連携はあるか	4	⑦⑧「心の相談窓口」を毎月1回、外部の心理カウンセラーを招いて対応している。必要時、医療機関に繋げている。			学生便覧 わたしの健康ノート 保健だより
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	①遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか ②学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか ③学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	①学生寮は完備していないが、掲示板等で近隣の不動産情報提供をしている ②③離島から親元を離れて学習している学生には、各チューターで生活面や体調面などの確認を行い状況を把握している			学校案内 掲示板で情報
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	①クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ②大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか ③大会成績など実績を把握しているか	4	①教員が顧問となり、サークル活動等の団体の活動状況を把握している ②サークル活動状況や予算書の提出後、学生会や学校長の審査の後、サークル活動費が支給される			学生便覧 学生会会則 学生等団体活動状況報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の健康管理では、年1回の学校健診を行い2次検診が必要な学生には随時指導を行っている。2次検診後、結果を学校に報告してもらい健康面で問題がある場合には、担当教員との連携を行って支援している。抗体価検査や予防接種の記録は、健康ノートを配布し自己管理できるよう指導している。学校でも検査結果や接種記録を保管し、臨地実習へのスムーズな受け入れ態勢を整えている。</p> <p>課外活動の支援は、サークル担当窓口の教員を配置し予算やサークル活動に関しての相談を行っている。経済的支援に関しては、学生全体に各奨学金等の制度を周知し、また個別相談にも対応している。常に最新の情報を得るため各奨学金等の研修会等へ参加しその対策を講じている。</p>	<p>学校生活で自分の健康を自己管理できるように、「わたしの健康ノート」を配布し、学校健診、抗体価検査、ワクチン接種状況、精神的ストレスなど把握できるように活用を促している。</p> <p>1年間に3回、各時期に合わせた「保健だより」を学生に作成してもらい、健康管理について啓発を行っている。</p>

## 5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	①保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか（他校ではこの文面は削除されている） ②学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか ③緊急時の連絡体制を確保しているか	4	①②保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。学生会が発行している「那覇看便り」で学生生活の情報提供を行っている。 ③学力不足、心理面等の問題がある場合は、必要に応じて保護者と面談し連携している。 ④クラス連絡網の作成、緊急時じんじんメールで伝達できる連絡体制を整えている			学生便覧 みちしるべ（シラバス） ホームページ 那覇看便り 後援会役員会資料・会議録 後援会総会資料 保護者面談記録 緊急連絡網 じんじんメール 教員 PHS 一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。学力不足、心理面等の問題がある場合は、必要に応じて保護者と面談し連携している。 緊急時の連絡網の作成、じんじんメールの体制は確保されている	学生会が発行している「那覇看便り」で学生生活の情報提供を行っている。

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	①同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ②再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか ③卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか ④卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4	①同窓会は、卒業生をもって組織化され、役員会や総会を開催している。卒業式では卒業生へコサージュのプレゼント、オープンキャンパス・学校際には卒業生ブースで、後輩と交流を行っている。 ②キャリアアップに関して、進学した卒業生と交流を企画している。再就職に対し、相談にきた卒業生には個人的に対応している。 ③卒業5ヶ月と卒業1年目を対象に里帰りトレーニングを実施している。 ④卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別での相談支援も行っている			同窓会関連資料 学生便覧 里帰りトレーニング化要項 卒業支援委員会議事録 卒業支援委員会資料

5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	①関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか ②学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力をしているか	4	①実習指導者講習会、看護教員養成講習会等に講師を派遣している。 ②学会・研究会活動において、実習施設等と連携・協力をしている			学生便覧 ユニフケーション会議録 実習指導者講習会要綱 学会誌
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	①社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか ②社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか ③図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか ④社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	4	①②入学前の履修科目に対して学則に従って単位認定をしており、学内諸規定にも休学・復学ついて定めている。 ③管理規定を設けているが、時間外での図書返却用BOX設置、教員の管理下での時間外実習室の使用体制を設けている。 ④教員はチュートリアル制にて学生個々の相談支援体制を整えている			学生便覧 図書室管理規程 実習室管理規程 単位認定会議

5-21 (2/2)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>卒業生への支援として、同窓会が結成されており年に1回の総会や特別講演を開催している。キャリアアップに関して、進学した卒業生との交流の企画、再就職に対しては相談にきた卒業生には個人的に対応している。卒後は、5ヶ月と1年目に「里帰りトレーニング」を開催している。卒業後の研究活動の支援として図書館を開放し、個別での相談も行っている</p> <p>実習施設等との連携として、臨床指導者講習会、看護教員養成講習会等の研修の講師を派遣している。学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力をしている。</p> <p>社会人の入学に際し、入学前の履修科目に対して、学則に従って単位認定をしている。図書室や実習室は管理規定を設けているが、時間外実習室の使用体制を設けている。チュートリアル制にて学生個々の相談支援体制を整えている</p>	<p>卒後は、就職6ヶ月と1年目に「里帰りトレーニング」を開催している。5ヶ月目は、初期の新人教育を修了し、独り立ちが求められることから、不安や焦燥感を抱き、仕事を継続できるか悩み落ち込むことが多くなります。やればできる自己肯定感を高める目的で行っている。</p> <p>1年目は、一番身近な先輩として後輩の成長を支える役割を担うことや、臨床経験1年目の課題をみつける機会としている</p>

## 基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設設備に関しては、法定点検や日常点検を定期的に行い必要に応じて部品の取替や修繕を行っている。教育用具等も看護師養成所の運営ガイドラインに基づいて必要な数量を十分に揃えている。</p> <p>学外実習に関して、臨地実習について実習要項を作成し適切に運用している。実習施設と協議会を開催し、連携を密にしている。また年度末にはユニフィケーション会議を開催し協同学習や現場と意見交換を行っている。臨地実習の教育効果について、目標評価スケールステップアップスケールの活用で基礎的能力・成長過程の評価を確認している。</p> <p>入学式・宣誓式・卒業式やオープンキャンパス・学校祭等に学生は積極的に参画している。また、卒業生・保護者・関連業界等、学生の就職先等に行事の案内をしている。</p> <p>学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。施設・建物・設備の耐震化を確認している。</p> <p>消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応し、記録を保存している。</p> <p>備品の転倒防止など安全管理している。防災・安全管理に関する組織体制は整備され適切運営されている。</p>		<p><b>セルフスタディールームの設置</b> 基礎看護実習室の他にセルフスタディールームを設けており、個人またはグループで、いつでも自由に看護技術を高め合うことができる。</p> <p><b>模擬負傷者役を通して防災意識、安全教育</b> 災害看護の演習の一環として、那覇空港航空機事故防災訓練及び那覇市防災訓練へ学生は模擬負傷者役で参加している。</p> <p><b>ステップアップスケールを用いた基礎的能力の評価</b> 臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認している</p>

## 6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	①施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか ②図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか ③図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか ④学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか ⑤施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか ⑥手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか ⑦卒業生に施設・設備を提供しているか ⑧施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか ⑨施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	①②③看護師養成所の運営ガイドラインに基づいて整備している。新刊図書等に一般教養・教育分野の図書や学生数に見合う冊数について整備している。図書室は、8:30～20:00まで開室している。基礎看護実習室の他にセルフスタディールームを設け、個人またはグループで、自由に看護技術を練習できる場を確保している。 ④ラウンジ、ロビーにて自由に休憩・食事のためのスペースを整備している。 ⑤バリアフリー化に努めている。 ⑥各手洗い設備にポンプ式手指洗剤を設置し、各教室の前にはアルコールジェルを設置し衛生管理を徹底している。 ⑦卒業生は申請により図書室等の利用を許可している。 ⑧⑨施設・設備は、法定点検や日常点検を行い必要に応じて補修を行っている。中長期計画を作成している。			学生便覧 図書室管理規程 施設・備品使用規定 実習室管理規程等 中長期計画表 メンテナンス契約書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>看護師養成所の運営ガイドラインに基づき機械器具、標本、模型及び図書を十分に整備している。また、図書室も8:30から20:00を開放し学生が学習しやすい体制を整えている。施設設備に関しても法定点検や日常点検を定期的に行い必要に応じて部品の取替や修繕を行っている。</p> <p>衛生管理も徹底しており、各教室、実習室等の前にアルコールジェルを設置し入室前に消毒できる。</p>	<p>基礎看護実習室の他にセルフスタディールームを設けており、個人またはグループで、いつでも自由に看護技術を高め合うことができる。</p>

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<p>①学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか</p> <p>②学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか</p> <p>③関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか</p> <p>④学外実習について、成績評価基準を明確にしているか</p> <p>⑤学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか</p> <p>⑥学外実習等の教育効果について確認しているか</p> <p>⑦学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか</p> <p>⑧卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか</p>	4	<p>①②臨地実習について教育課程上の位置づけを明確にし、実習要項を作成し各学年の学習レベルに対応できるよう適切に実施・運用している。</p> <p>③④⑤実習前に実習施設との臨地実習協議会を開催し、実習期間中及び終了時には実習評価カンファレンスを行い、連携を密にしている。また TA やユニフィケーション会議にて現場との意見交換を行っている。</p> <p>⑥教育効果については、ステップアップスケールを用いて成長過程の評価を確認している。</p> <p>⑦⑧入学式・宣誓式・卒業式やオープンキャンパス・学校祭等に学生は積極的に参画している。また、卒業生・保護者・関連業界等、学生の就職先等に行事の案内を実施している。</p>			<p>学生便覧 みちしるべ (シラバス) 実習要項 実習協議会資料、議事録 学校ホームページ 実習成績評価資料 (step up スケール) ユニフィケーション会議資料 学校行事 入学式 宣誓式 卒業式 新入生歓迎スポーツ大会 オープンキャンパス 学校祭</p>



中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>臨地実習について教育課程上の位置づけを明確にし、実習要項を作成し各学年の学習レベルに対応できるよう適切に実施・運用している。</p> <p>実習施設との臨地実習協議会を開催し、実習期間中は学生の実践支援や実習評価について連携を密にしている。また年度末にはユニフィケーション会議を開催し協同学習や現場との意見交換を行っている。</p> <p>臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認している。</p> <p>入学式・宣誓式・卒業式やオープンキャンパス・学校祭等に学生は積極的に参加している。また、卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしている。</p>	<p>臨地実習の教育効果については、各領域の目標評価スケール及びステップアップスケールを用いて基礎的能力の評価・成長過程の評価を確認している</p>

## 6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか ②施設・建物・設備の耐震化に対応しているか ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか ④防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか ⑤備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか ⑥教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している（施設設備点検年2回、防災計画書提出年1回、防災訓練年1回） ②施設・建物・設備の耐震化を確認している ③消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している ④防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存している ⑤備品の転倒防止など安全管理している ⑥教職員・学生に防災研修・教育を行っている。 消火器の場所や避難経路がわかるよう各階に案内図を掲示した。 災害看護の演習として、那覇空港航空機事故防災訓練及び那覇市防災訓練へ学生模擬負傷者役で全学生が参加できる体制を整えている。			学生便覧 危機管理マニュアル 消防用設備等点検計画、報告書 建築物等の定期点検 校内避難経路図

<p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>①学校安全計画を策定しているか ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか</p>	<p>4</p>	<p>①施設設備担当が、上司の命をうけて、施設管理・備品管理を行っている。 ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、外来者の管理、記名と入館許可書着用をしている。学生と教職員は総合保障制度へ加入している。防犯カメラを設置している。 ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成している</p>			<p>学生便覧安全管理マニュアル 一般社団法人日本看護学校協議会共済会 外来者管理名簿 実習要綱 実習担当教員配置表 時間外は管理会社委託</p>
-------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------

6-24 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
<p>6-24-2 続き</p>	<p>④薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか ⑤担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか</p>	<p>4</p>	<p>④薬品等の危険物の管理において鍵のかかる戸棚に管理している。 ⑤学校外実習などの安全管理体制（担当教員の明確、規定、心得）明確にしている。実習中の災害発生時の学生の安全確保について、マニュアルを作成し実習要項に載せ、学生への説明、実習施設への説明を実施している。</p>			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。施設・建物・設備の耐震化を確認している。</p> <p>消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応している。</p> <p>防災（消防）訓練を定期的に行い、記録を保存している。備品の転倒防止など安全管理している。防災・安全管理に関する組織体制は整備され適切運営されている。学生教職員は、総合補償制度（WiLL）へ加入している。</p> <p>また、実習室の薬品等の危険物の管理は鍵のかかる戸棚に管理している。実習中の災害発生時の学生の安全確保について、マニュアルを作成し実習要項に載せ、学生への説明、実習施設への説明を実施している。</p>	<p>防災、安全管理に関して、災害看護の演習の一環として、那覇空港航空機事故防災訓練及び那覇市防災訓練へ学生は模擬負傷者役で参加している。</p>

## 基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集に関して、高校生へ進学説明会を積極的に行い、看護師教育についての情報提供を行っている。年に1回、高校の教員に対する学校説明会を実施し、本校の教育の特徴等を説明している。入学希望者・保護者・高校の教員等へ学校案内パンフレットを作成して広報活動に努めている。</p> <p>県内看護師養成学校及び県内看護大学等の入試計画を参考に、受験生にとって不利益にならないよう日程を考慮している。募集要項等については、県内高等学校進路室へ配布している。ホームページにて、入試情報を提示している。オープンキャンパスや学校祭においても来校者へ入試情報を説明している。</p> <p>また、独自で高校二年生を対象に「進路に関するアンケート調査」を行い、将来の進路について日頃どのようなことを考え、どのように決めているかを明らかにし、看護教育の質を高め、看護実践者を育成する看護教育の在り方を検討していく基礎資料としている。独自に行った高校二年生を対象とした「進路に関するアンケート調査」の結果、進路を考えた時期が中学生の頃との回答が35%で最も高かったため、今後は中学校へも訪問し「職業ガイダンス」を積極的に行っていく。</p> <p>今後も受験生のニーズに応えられるよう動向調査を行いガイダンスに繋げる。</p>		<p><b>高等学校進路担当の教員へ学校説明会の開催</b>            高校の教員に対する学校説明会を実施し、本校の教育の特徴等を説明している。            入学希望者・保護者・高校の教員等一般向けの学校案内パンフレットを作成して広報活動に努めている。            オープンキャンパスや学校祭においては学生によるフリートークのブースを設け受験生の個別相談に対応している。</p> <p><b>職業ガイダンスの実施</b>            今年度は、中学校1校に2回訪問し、述べ94名の生徒に職業ガイダンスを実施した。</p>

## 7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<p>①高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか</p> <p>②高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか</p> <p>③教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか</p>	4	<p>①教職員は、学校説明会でガイダンスを行っている。</p> <p>②5月に高等学校の進路担当教員を招いて学校進学説明会を実施し教育活動等の情報提供を行っている。</p> <p>③教員や入学希望者又は保護者に向けて「学校案内」を作成している。学校ホームページを適時更新しておりブログは学校の様子が伝わるので効果的である。</p> <p>③保護者向けには入学式終了後「学校説明会」を開き今後の学生生活の流れ等を説明している。</p>			<p>学校案内</p> <p>学校説明会資料</p> <p>進学ガイダンス実績</p> <p>オープンキャンパス1回</p> <p>学校祭1回</p> <p>高校へ独自ガイダンス5校</p> <p>業者主催ガイダンス40回</p> <p>県内看護専門学校</p> <p>合同説明会 1回</p> <p>延べ人数1,377人</p> <p>ブログ更新回数 68回</p>

<p>7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか</p>	<p>①入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか          ②専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか          ③志願者等からの入学相談に適切に対応しているか          ④学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか          ⑤広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか</p>	<p>4</p>	<p>①県内看護系大学3校、専門学校4校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。          ②学生募集要項に受験資格を示し、募集活動を行っている。          ③志願者等からの入学相談には丁寧に対応している。希望者へは随時学校見学会を実施している。          ④学校案内等で特徴ある教育活動や学修成果について正確に分かりやすくホームページをリニューアルし紹介している。          ⑤広報活動や学生募集活動に関する情報管理は担当事務が管理している。</p>			<p>学生募集要項          学校案内          オープンキャンパス資料          ホームページ</p>
-------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	------------------------------------------------------------------------------

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<p>⑥体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか</p> <p>⑦志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか</p>	4	<p>⑥オープンキャンパス、学校祭を年1回ずつ開催している。看護体験、教科書紹介の外に、教員による模擬授業、在学生から直接学生生活を聞けるようなコーナーを設け学校紹介を行っている。また、ブログでも去年の様子を閲覧できるよう工夫し、案内をしている。学生主体で地域へポスターの掲示している。学校敷地内には公道から見えるよう横断幕も設置している。</p> <p>⑥希望者には随時学校見学会及び施設案内を行っている。</p> <p>⑦推薦入試は、指定校推薦、一般推薦、社会人推薦に分かれており、さらに社会人推薦は自己推薦と施設長推薦のどちらか選択が可能となっている。</p>			



中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教職員は職業教育や学校説明会に出向いて説明している。年1回、高等学校の進路担当教員を招いて学校進学説明会を実施し教育活動等の情報提供を行っている。また、入学希望者保護者に向けて「学校案内」を作成している。学校ホームページのブログを適時更新しており教員のブログは学校の様子が伝わるのでより効果的である。入学試験は 県内看護系大学3校、専門学校4校の入試計画を把握し本校の入学試験を計画している。志願者等からの入学相談には丁寧に対応しており、学校案内等で特徴ある教育活動や学修成果について正確に分かりやすく紹介している。広報活動や学生募集活動に関する情報管理は担当事務職員が管理している。オープンキャンパスは年1回開催している。看護体験や教科書紹介の外に、教員による模擬授業、在学生から直接学生生活を聞けるようなコーナーを設け学校紹介を行っている。</p>	<p>今後の学校の在り方検討会の参考資料とするために、高校2年生へニーズ調査を行った。</p>

## 7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	①入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか ②入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか ③入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	①②入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており、規程に基づき適切に行われている。 ③合否判定は入学卒業等認定委員会で決定し入学選考の公平性を確保している。 ③入学卒業等認定委員会は設置主体が任命した入試委員で構成されている。			募集要項 入試規程 入学試験計画・実施資料 入学卒業等認定委員会 議事録 資料

<p>7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</p>	<p>①学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか          ②学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか          ③学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか          ④財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか</p>	<p>4</p>	<p>①受験者数・辞退者数・受験倍率・合格率のデータは適切に管理している。          ②入学後、「看護師として必要な基礎力の評価スケール」を実施しデータ化し教育に役立てている。          ③④応募者数・入学者数の予測数値を算出しており、財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている。</p>			<p>入学者データ推移          応募者数          合格者数          辞退者数          合格率          みちしるべ</p>
--------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

7-26 (2/2)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学選考基準や方法は、規程で明確に定めており適切に行われている。入学卒業等認定委員会にて決定し入学選考の公平性を確保している。応募者数・合格者数・辞退者数・合格率データは適切に管理している。受験に関して財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている。</p>	

## 7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	①学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか ②学納金の水準を把握しているか ③学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	①学納金の算定内容は学校運営委員会にて決定される。 ②③学納金の内容は明確で、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。 ④学納金は県内の看護専門学校5校の水準を把握している。			学校運営委員会議事録 学生募集要項 学生便覧
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、入学辞退者には授業料の返還を行っている。ホームページにも掲載している。			学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容に対応し、学納金を算定している。学納金の内容は明確にし、学納金等徴収する金額はすべて募集要項に掲載している。また、学納金は県内の看護専門学校5校の水準を把握している。 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、入学辞退者には授業料の返還を行っている。	

## 基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>収入においては、受験者数は目標達成でき、予算どおりの収入を確保することができた。</p> <p>安定した財務状況である。中長期的に学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査を受けている。業務は法令等に従い適正に実施されている。また、事業報告書は法令に従い、本校の状況を正しく示しているが、比率での予算把握については、比率表示が入っていないため、検討していく必要がある。</p> <p>公認会計士による定期監査を実施し指導を受けている。</p> <p>財務情報公開体制の環境も整い情報公開している。</p>	<p>財務諸表では比率表示は入っておらず、引き続き検討事項とする</p>	

## 8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	①応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか ②収入と支出はバランスがとれているか ③貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか ④消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか ⑤設備投資が過大になっていないか ⑥負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	①応募者数・入学者数の推移は資料にしている。今年度の受験者数は予定人数より45名増え入学検定料の増収となった。 ②収支のバランスはとれている。 ⑤設備投資は適切である。 ⑥借入金は平成35年度完済予定で計画的に返還している。 ②会計士の指導に基づき収支の管理を行っている。			財務委員会資料 入学試験応募者数推移
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	①最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか ②最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	①②設備投資は中期計画表に基づき行っている。			中期計画表 学校運営委員会資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	③最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか ④キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ⑤教育研究費比率、人件費比率の数值は適切な数值になっているか ⑥コスト管理を適切に行っているか ⑦収支の状況について自己評価しているか ⑧改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	3	③物品購入等は予算内での費用管理を徹底している。 ④キャッシュフローは会計ソフトから出せるようになっている。 ⑤電力使用量に関しては、デマンド装置で管理しており常に省エネに努めている。 ⑤通信費については、現状のサービス内容を調査し無駄な通信費用がないか検討を行っている。 全体として安定している経営を続けているが、比率での予算管理を行っておらず ⑥補正予算作成時に自己評価を行い修正している。 ⑦財務改善が必要な場合には改善計画を策定している。	今後は比率での予算把握が必要。	財務諸表では比率表示は入っておらず、引き続き検討事項とする	財務諸表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
建物の修繕やパソコン等コンピューターの入れ替え、空調の入れ替え、備品の購入等、高額な出費については中期計画を建て収支の管理を行っている。 また、財務に関しては公認会計士の指導に基づき適宜改善を行っている	

## 8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	①予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	①予算編成に際して、教育目標、教育事業計画との整合性を図っている。 ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっている。運営委員会、財務委員会、理事会、総会の課程で審議している。			総会資料
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	①予算の執行計画を策定しているか ②予算と決算に大きな乖離を生じていないか ③予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか ④予算規程、経理規程を整備しているか ⑤予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4	①②予算については、各部署、領域別に必要な消耗品と物品購入計画の提供指示を行っている。予算執行と決算については3月総会にて審議・決定をしている。 ⑤物品購入等は予算内の費用管理を徹底している。 ③補正予算は理事会、財務委員会にて承認を得ている。			理事会・財務委員会資料 証憑つづり

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
印刷機やコピー機、車両の使用については使用状況を管理しコスト削減に努めている。研修については予算に基づき計画的に実施している。予算の執行状況を定期的に把握し大きな乖離が起きないように努力している。	



## 8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	①私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか ②監査報告書を作成し理事会等で報告しているか ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	①定款に基づき、適切に監査を実施している。 ②監査報告書を作成し理事会等で報告している。 ③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施している。 ④監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。			定款 監査報告書 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の業務は法令等に従い適正に実施されているものである。また、事業報告書は法令に従い、本校の状況を正しく示していると考ええる。 公認会計士による定期監査を実施し指導を受けている。	

## 8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	①財務公開規程を整備し、適切に運用しているか ②公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか ③財務公開の実績を記録しているか ④公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	①財務公開規定に沿って適正に運用されている ②財務帳票、事業報告書は作成している。 ③財務公開の実績が記録されていない ④決算書は、ホームページにも掲載している。			予算編成資料 事業計画書 決算書 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
安定した財務状況である。中長期的に学校の財務基盤は安定しており、適切に会計監査を受けている。	

## 基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規定等は、整備し適切に運用している。</p> <p>ハラスメント防止等に関する規定を作成し、H30年10月1日から施行している。また、従来、男性心理カウンセラーのみの起用であったが、女性心理カウンセラーの新規起用を行った。</p> <p>個人情報保護に関することや学務システムおよびサイトに関しても、適切に運用している。</p> <p>学生へもSNSと個人情報管理について特別講義を行っている。また、臨地実習前オリエンテーションでも周知している。SNSについての事案として、学生間における実習先の出来事として、無料通話アプリで事実と異なる内容を記載し写真を送信した。この件に関しては学年全体でSNSの使い方・個人情報保護について考える場を設けた。個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用している。学生へは、SNSと個人情報管理について特別講義を行っているが、SNSの取り扱いやマナーの周知が不十分な面がみられる。</p> <p>教職員が学生に対しての個人情報を法令に基づいて遵守することに関しては、個人情報の誓約書を書いている。</p> <p>学校関係者評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。</p>	<p>SNSと個人情報管理については引き続き特別講義や臨地実習前オリエンテーションにて周知をしていくが、その操作を行うスマートフォンなどのタブレット端末の学内・実習先での使い方やマナーを見える化し教職員で共通理解し、学生へ周知して行く。</p>	

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<p>①関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか</p> <p>②学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか</p> <p>③セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか</p> <p>④教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか</p> <p>⑤教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか</p>	3	<p>①②関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規定等は、整備し適切に運用している。③ハラスメント防止等に関する規定を作成し適切な運用ができるよう研修会を計画しているが、未実施である。また対応マニュアルの作成も未だである。教職員のコンプライアンスに関する窓口として顧問弁護士が設置されている。</p> <p>④学生に対しては、意見箱を設置し対応しているが開封責任者が不明確である</p> <p>⑤学生に対し、法令遵守に関する教育を行っている。</p>	<p>意見箱の開封責任者を表示し、掲示する必要がある。</p> <p>エレベーター前に設置されている『意見箱』と、学校長室前に「学校長ダイレクト」があるが違いが明確でない。</p> <p>意見箱の開封時期や開封責任者が明確でない。</p> <p>ハラスメントに関する研修が未実施である。</p>	<p>意見箱の開封時期や開封責任者が明確でない。</p> <p>エレベーター前に設置されている『意見箱』と、学校長室前に「学校長ダイレクト」の違いを明確にする。</p> <p>教職員のハラスメントに関する研修を計画する</p>	<p>保健師助産師看護師法 就業規則・規程 ハラスメント規程 意見箱の意見に対する回答</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規定等は、整備し適切に運用している。ハラスメント防止等に関する規定を作成している。対応マニュアルの作成は未だである。学生からの意見箱を2箇所設置し対応しているが、開封時期や開封責任者が明確でない。教職員のコンプライアンスに関する窓口として顧問弁護士が設置されている。学生に対し、法令遵守に関する教育を行っている。</p>	

## 9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<p>①個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか</p> <p>②大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか</p> <p>③学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか</p> <p>④学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか</p>	3	<p>①②個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用している。また、学務システムに関しても教職員ごとにパスワードを設定し、閲覧更新制限を設けている。</p> <p>③サイトの運用にあたっては、特定の職員のみ取り扱いができ情報漏えいの防止策を講じている。</p> <p>④学生へは、SNSと個人情報管理について特別講義を行っているが、学生のSNSの取り扱いやマナーの周知が不十分な面がみられる。</p>	SNSと個人情報管理について説明する機会を設けているが、タブレット端末を学内・実習先で使用する際のルール・マナーの周知が不十分である。	<p>毎年各学年にSNSと個人情報管理については引き続き特別講義を行っていく。</p> <p>臨地実習前オリエンテーションにて毎回説明し周知徹底していく。</p>	<p>守秘義務誓約書</p> <p>臨地実習に伴う守秘義務に関する誓約書</p> <p>個人情報保護に関する説明書・同意書</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用している。学生へは、SNSと個人情報管理について特別講義を行っているが、SNSの取り扱いやマナーの周知が不十分な面がみられる。	

## 9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか ③評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施している。 ②実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全教職員で取組んでいる。 ③評価結果に基づき、学			就業規程 ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録 学校満足度評価
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	①②評価結果をホームページに掲載している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ②実施のための組織体制を整備しているか ③設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか ④評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	①②③④ 評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録 学校満足度評価
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	①評価結果を報告書に取りまとめているか ②評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	①②評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに公表している。			ホームページ 自己点検・自己評価 学校校関係者評価 学校関係者評価委員会 議事録 教育課程編成員会議録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実施にかかる組織体制を整備し全教職員で取り組み、評価結果に基づき学校改善に取り組んでいる。評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに公表している。	

## 9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか ②学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開している。 ②学生、保護者、関連業界等へブログやホームページに公開している。			学校ホームページ 那覇看便り 後援会総会資料 卒業論文発表会抄録 学校案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開し、学生、保護者、関連業界等へブログやホームページに公開している。	



## 基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校と実習施設との連携として教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催し、講師のキャリアアップのために認定書を交付している。ティーチングアシスタント（TA）と里帰りトレーニングを実施している。就職指導に関しては、県内の実習病院を中心に就職説明会を行っている。</p> <p>学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放も積極的に行い、実習病院や各専門学校、医療系大学、沖縄県と広く連携しながら運営ができています。</p> <p>ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し参加している。また、学生のボランティアの活動実績を評価し、卒業時に活動報告会を設け、特別活動として表彰している。</p>		<p><b>『認定書交付』</b>            学校と実習施設との連携として教育連携推進会議（ユニフィケーション会議）を開催し、ティーチングアシスタントの技術教育に携わった方、講義を行った方へキャリアアップの為の成果として『認定書交付』を行っている。</p> <p><b>学生会活動（ボランティア活動）</b>            学生会主体のボランティア活動としてペットボトルのキャップを集め、環境問題への関心を啓発する機会としている</p>

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<p>①産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか</p> <p>②企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか</p> <p>③国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか</p> <p>④学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか</p> <p>⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか</p> <p>⑥学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか</p> <p>⑦地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか</p> <p>⑧環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか</p> <p>⑨教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか</p>	4	<p>①②③④実習病院と連携に関する契約書等の規定を整備している。実習施設との連携でTAと里帰りトレーニングを取り入れ、臨地実習施設とのユニフィケーション会議を開催し認定書を交付している。就職に関しては、県内の実習病院就職説明会を行っている。学校施設・設備備品等を地域・関連業界等・卒業生等に開放・貸出ししている</p> <p>⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣し協力・支援している。</p> <p>⑥オープンキャンパスや高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援している。</p> <p>⑦地域の受講者等を対象に子育て支援講座に講師を派遣している。</p> <p>⑧ペットボトルのキャップ集めで環境問題など社会問題の解決に貢献する活動をしている。節電などの省エネ対策、学内外の清掃活動などを行っている。</p>			<p>校内実習 TA 派遣計画書</p> <p>講師派遣計画書</p> <p>ユニフィケーション会議録</p> <p>オープンキャンパス実施要項</p> <p>講師派遣依頼回答公文書</p> <p>エコキャップ回収感謝状</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実習施設との連携としてティーチングアシスタント（TA）と里帰りトレーニングを取り入れている。また、学校施設・設備等を地域や実習施設・卒業生等に開放している。オープンキャンパスなどで実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援し、入学予定者にプレスクールを4回シリーズで実施し、入学後の授業方法の協同学習体験、卒業前のシミュレーション学習、1年生の実習後のケースレポート発表見学を実施している。またペットボトルのキャップを集め、環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っている。学校祭においては、献血車を依頼し多くの協力をしている。</p>	<p>実習施設との連携としてティーチングアシスタント（TA）と里帰りトレーニングを取り入れ看護技術教育を行っている。  入学予定者に入学前授業として4回シリーズでプレスクールを実施し、協同学習技法等を体験する機会を設定している。  学生会主体のボランティア活動としてペットボトルのキャップを集め、環境問題への関心を啓発する機会としている</p>

## 10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	①ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか ②活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか ③ボランティアの活動実績を把握しているか ④ボランティアの活動実績を評価しているか ⑤ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	①②③④ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に参加している。ボランティアの活動報告会を開催し、卒業時に表彰している。			ボランティア活動報告書(感想綴り) ボランティア特別活動賞表彰者名簿 ホームページ ブログ 学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習施設や患者会などの依頼に応じ、ボランティア活動や社会活動を学校として積極的に奨励し参加している。また、学生のボランティアの活動報告会を開催し、卒業時に表彰している。	

## 4 平成30年度重点目標達成についての自己評価

平成30年度重点目標	達成状況	今後の課題
1 安定した学校運営	<p>1. 安定した学校運営 教育目的・目標の達成に向けて組織体制・財政基盤の安定化については、均衡のとれた財政管理に努め、支出については適切な節減に努めることができた。 年度末に学校運営全般の自己点検・自己評価を実施し事業の成果状況と課題を明らかにし結果を公表することができた。学校の将来を考える会を開催し、応募状況、受験生の要望、高校生へのアンケート調査、卒業生キャリアアンケート（追跡調査）評価、設置主体のニーズ等を踏まえ学校の在り方を継続的に検討していくことを協議決定した。</p>	<p>1. 就職先と連携し、卒業生キャリアアンケート（追跡調査）を行い、今後の学校の在り方について検討していく資料として情報収集及び分析を行っていく。</p>
2 教育課程の円滑な運営	<p>2. 教育課程の円滑な運営 外来講師及び臨地実習施設の確保は安定的に行っているが、専任教員の確保については、定年後の継続雇用で支障なく運営することができた。 看護職に必要な自己教育力、社会人・組織人としての基礎的能力の育成については、「step up スケール 看護師として必要な基礎力」を活用して自己評価を行い、学生自身の自己成長を確認することができた。 実習指導者との情報交換、連携・協働についてはユニフケーション会議や TA との技術教育における連携・協働の視点で関わることができた。 地域包括ケアへの移行を見据え、新カリキュラム構築に向け現行カリキュラムの評価を継続的に行うことができた。</p>	<p>2. 次世代の人材育成を見据え中長期的な視点で人材確保をしていく。</p>
3 教職員の資質の向上	<p>3. 教職員の資質の向上 各自の研修計画を基に県内外の研修会へ100%参加することができた。県外学会発表は3件派遣することができた。また、実習施設と教育現場との連携・協働については、実習施設で行われている院内研究発表会へ参加することができ、教育の資質向上に努めることができた。看護教員養成講習会へは未受講者1名を派遣することができた。 キャリアラダーを活用した目標管理に基づく評価面接を年2回(中間・年度末)実施することができた。ハラスメントに関する知識を学ぶ機会・研修会が未実施である。</p>	<p>3. 教職員の資質向上として、ハラスメントに関する基礎知識を学ぶ機会・研修会を計画していく。</p>
4 教育環境の整備	<p>4. 教育環境の整備 時間外での図書返却用BOX設置により時間外使用体制を設け、図書の利用率を高め、学生の学習活動を支援することができた。教材備品の管理を徹底し、情報科学で使用するパソコンを50台入替えを行い、学生の主体的な学習活動を支援することができた。</p>	

平成30年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>5 学生支援の強化</p> <p>6 入学生・卒業生への支援</p> <p>7 広報活動</p> <p>8 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換</p> <p>9 後援会及び同窓会活動の支援</p>	<p>5. 学生支援の強化  看護師としての基礎的能力の習得については、「step up スケール 看護師として必要な基礎力」を活用して行く視点を持つことを強化・支援し、社会人・組織人としての基礎的能力、就職・進学等キャリア発達を支援することができた。経済的支援については、公的奨学金の活用について支援をすることができた。  国試対策として3年間の支援計画の下、各学年国試対策を行うことができた。専門性の追求や学び続ける力を支援するために教科外講座として、福祉住環境コーディネーター講習会を開設し、受講者 90 名、検定試験 83 名受験、42 名合格（51%合格率）であった。（全国合格率 42%）</p> <p>6. 入学生・卒業生への支援  入学前支援として4回シリーズでプレスクールを実施した。卒業後支援として卒後5か月目と卒後1年目に里帰りトレーニングを実施した。</p> <p>7. 広報活動  日頃の学校生活等について学校ホームページをリニューアルして紹介し充実を図ることができた。学校説明会・学校祭・オープンキャンパスを計画通り開催することができた。また、中学校を訪問し、職業ガイダンスにより、看護師の魅力を伝え、高等学校訪問では職業ガイダンス、進学説明会を行い、質の高い入学生の確保に努め、対外的に学生生活を紹介することができた。</p> <p>(8) 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換  中高生への健康教育、健康講座等、地域の子育て支援講座等へ講師派遣をし、また、学生のボランティア活動を支援し地域貢献に努めることができた。  沖縄県看護教育協議会との情報交換については校長役員会や再教育研修会、領域会議等を通して情報交換はできている。日本看護学校協議会については、学会への発表・参加を通し県外他校の情報収集に努めた。</p> <p>(9) 後援会及び同窓会活動の支援  後援会及び同窓会活動がさらに活発に行えるよう事務的支援を行った。</p>	